

# 令和7年 年頭にあたり

幌延町農業協同組合

代表理事組合長 無量谷 稔



新年明けましておめでとうございます。

2025年新春を組合員皆様と共に迎えられました事は慶びに堪えない次第であります。

さて昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されてから2年目を向かえ、徐々に元の経済活動に戻りつつあるものの、円安の影響・人手不足等により物価が高騰し、インフレに大きく振れる状況になりました。物価上昇により大企業を中心に賃上げが実施されましたが、特に食糧品の値上げに賃上げが追いついていない状況にあり、我々畜産・酪農から生産される牛肉・飲用牛乳の消費が減退し、市場価格の下落に繋がっております。せっかく乳価の値上げがあったにも関わらず酪農家の経済状況はむしろ昨年より悪化しました。その要因としては、依然として飼料価格が高止まりする中、配合飼料への安定基金の発動が春以降されていない事により、経費の高騰をカバーするまでの乳価の値上げになっていないことが影響していると思います。又昨年度には国や道、町村等の高騰対策などの支援がありました。本年度はなかったため組合員皆様の組勤整理等において大変ご苦労されたことと思います。その様な状況ではありましたが幌延町からは、緊急支援事業として昨年と変わらずのご支援をしていただきました。本当にありがとうございました。今後も何かとご支援を賜ればと思います。

現在、日本の酪農家はこの10年で半減し、とうとう1万户を割りました。本組合においても離農の歯止めがきかない状況にあります。又昨年は、今まで経験した事がない天候不順に見舞われ一番牧草の収穫時期が8月中旬頃まで遅れました。組合員の皆様におかれましては、大変ご苦労されながら収穫作業に追われた年だったと思います。この事は生乳生産にとって大きなダメージとなり、中々前年を上回る生乳生産になりませんでした。組合員皆様のご苦労と不断のご努力に感謝申し上げます。

現在乳価の改定に向けて、ホクレンと乳業メーカーとの協議が続いております。年内に決着する状況にはありませんが、生産者が納得できる価格改定である様念じている所でございます。

元より私が申し上げておりますが、『1kgでも多く牛乳を搾る事が経営を守る事』に繋がると信じております。

まだまだ大変厳しい情勢ではありますが、ご家族皆様が今年1年健康でありますとともに、益々のご繁栄を役職員一同心から祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。